



仲間の輪を広げ、楽しみの環を広げよう

第 246 回例会

日 時：平成 28 年 4 月 14 日 (木) 11:30～13:30

場 所：八王子エルシィ

出席者：60 名 出席率 90.9%

(会員総数 69 名 休会 3 名 欠席 6 名)

1. 開 会 荻島例会委員長の司会で進行

配布資料の確認

2. 挨拶 永井 昌平会長



皆さんこんにちは、今日は非常に嬉しいニュースが飛び込んで参りました。久しく休んでいました米林さんが今日から元気な姿を見せて下さいました。

今期もあと 3ヶ月になりました。実は全日本プロバス協議会から今期に東日本交流会の開催を依頼されていましたが、当会の 20 周年等があり時期を逸してしまい申し訳なかったのですが、次の期に延期させて頂きたいと思っております。

あまりのんびりしてはいただけませんので今期から実行委員会を立ち上げていこうと思っております。全日本協議会も皆さんの仲間ですので、ぜひご協力をよろしくお願い致します。

3. 来賓のご紹介とご挨拶

東京八王子南ロータリークラブ会長 山口進一様

同 30 周年実行委員長 清水宣彦様

ご挨拶 清水宣彦様

高い席からでございますが、ひと言ご挨拶させていただきます。本日はプロバスクラブの例会にお招きい

ただき大変ありがとうございます。我々の食事と違い大変おいしいお食事をさせていただきました。

本日は実はご案内ではなく、お礼にまいりました。

我々の 30 周年の式典を 5 月 25 日に京王プラザで行いですが、ご案内をさしあげましたところ 20 名前後の方にご参加頂けるという内諾を得ま



した。お忙しいところでございますが当日はよろしくお願い致します。

さて、我々の 30 周年の内容を少しだけお話しさせていただきます。私どもは 1986 年 2 月 12 日に 51 名のメンバーで発足致しました。2 月 19 日にアールエイの加盟を頂き、5 月 17 日に認証伝達式を行いました。我々の公式ですが、特別代表という方がいらっしゃいまして、当時は小松和男さんという聖パウロ病院の院長さんでした。そして拡大補佐という方 4 名をお願い致しました。その中に実は大先輩の大野聖二さんと杉山友一さんがいらっしゃったわけでありまして。その後この方々のご尽力によりまして我々のクラブが出来ました。そして我々クラブの特徴でございますが、フレキシビリティと協調と協和ということをもっとに、この 30 年間いろんな形で研鑽を積み重ねて参りました。プロバスさんと同じように奉仕事業であります。私共は青少年を中心にした交換事業をおこなっております。今年も 2 名の交換留学生を受け入れました。

30 周年式典の内容は交換留学生の卓話を中心として式典を組んでいきます。お料理はこだわって地産地消ということで、八王子産の野菜、肉を京王プラザホテルのシェフをお願いしてお料理していただくことになっております。

最後になりましたが、昨年10月には20周年が盛大に行われ参加させて頂きました。これからも交流が我々が望んでおりますウインウインの関係で長続きすることを望みたいと思います。

4. ハッピーコインの披露

岩島副会長から16名のハッピーコインの披露がありました。(5~6ページに掲載)

5. パースデーカード贈呈

永井会長から5名の会員に池田会員の手作りのパースデーカードが贈られました。

写真左から、佐々木研吾、熊田眞瑜美、池田ときえ、内山雅之、塩澤迪夫、永井会長の皆さん



6. 卓話「ニュースポーツで楽しもう」

塩澤 迪夫会員

皆さまこんにちは。4月1日生れで満80才になりました。こんな機会に卓話をさせて頂きありがとうございます

皆様方には馴染が薄いかもしれませんが、私は今日本レクリエーション協会の公認指導者ということで、ニュースポーツをひろめています。というのは皆様方の健康寿命を如何にして伸ばすかということで始められました。“スポーツは楽しむもので苦しんではいけない”ということがあります。そして自分の体力を如何にして向上させるかということで、努力されている方が増えています。

朝早起きして公園を散歩している方、身体を動かしている方をあちこちで見受けます。これは自分自身の為だと思います。週1回のスポーツを実施する割合が、70%以上という目標に向かって八王子市も



やっています。12年前に健康都市を宣言しようという話がありました。それがつながりまして、今、全市内のいろいろな団体の方々が集まってスポーツフェスティバルが行われています。

私が日本レクリエーション協会の公認指導者ということで実行委員長をやっており、プロバスの皆様方には大事な部門を毎年受け持っていていただきます。ありがとうございます。

そんな中でいろんな団体がニュースポーツをやっています。“え、これがスポーツ？”というのがニュースポーツです。今日はその中の一部をカラーでご紹介します。

東京のフェスティバルとしてニュースポーツが昭和記念公園で毎年3月に行われますが、先月には約40種目がおこなわれ、2種目を担当させて頂きました。朝8時半から夕方4時半まで間に1,000人以上の方々が私のところで楽しんでいられました。

このニュースポーツは三世代でもできる。要するに幼児からおじいちゃん、おばあちゃんまでが同じ種目でできるというのがあります。その時に行ったのがカラーちらしの中の一部で、決して難しいものではありません。従来の私達が、飛んだり、跳ねたり、投げたりの行為から脱皮したのがこのニュースポーツで、誰でもが的へ当てたりして、余暇を利用して楽しむものです。

なぜ私が今日この話をするかということですが、実は私達は現職を離れて、どちらかというともっすぐに進んでいる人が多いと思います。そんな中で、「そうではないよ、地域というのがあるんだよ！地域に戻りましょう！」というのが私自身の提案です。戻りすぎて多忙な日々を過ごしていますが、そんな中で私は今、市内の半数以上の小学校にこのニュースポーツをひろめています。そして塩爺として親しまれています。

話題のニュースポーツいろいろ

・ターゲット・バードゴルフ

羽根つきのボールを普通のゴルフクラブで打つミニゴルフです。合成樹脂のシャトルボールにより、方向性や飛距離が抑制され、初心者でもすぐにプレイできるようになります。



・スカットボール

ゲートボールと同様のステックを使って、的となる台の穴にボールを入れる競技です。ハラハラドキドキ感でシルバー層の皆さんに大ブレイクです。



・ラダーゲッター

子どもも大人も楽しめちゃう！ 3世代交流型ニュースポーツ。両端にボールが着いたひもをラダー(はしご)にむかって投げ、上手に引っ掛けるスポーツ。簡単そうに見えますが、目で距離を測り、適度な力で投げるのは意外と難しい！！



うまく引っ掛かるとその手応えがたまらず何度もやりたくなります。

・キンボール

ビックなボールを3チームでヒット&レシーブする。カナダ生まれの従来のスポーツの常識を超えたニュースポーツ。



・ドッチビー

(ソフトディスク)

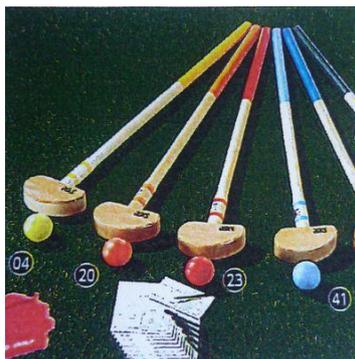
痛くないからいろんなプレーが楽しめる。ウレタン素材の布でカバーしたディスクは当たっても痛くないし、ゆっくり空中を飛ぶので恐怖心がまったく起こらない。女の子も一緒になってグラウンドをかけ回る。



・手のひら健康バレー

椅子に座って30gの軽量ボールを、手のひらに当ててボールを落とさないように何回続いたかを仲間と一緒に楽しむ新しいスタイルのレクリエーションスポーツです。

健常者と障害者が一緒に楽しむこともできます。



・グランド・ゴルフ

今やシルバー層に深く浸透しているニュースポーツの代表格。個人プレーと団体プレーの両方でプレーを楽しむことができます。

・ニチレクボール (室内ペタンク)

軟らかいボールだから室内でも平気！ルールはペタンクと同じです。2チームがそれぞれ赤いサークルの中に立ち黄色の標的球により近づけるように赤と青のボールを投げあう。

両チームがボールをすべて投げ終わった時点で1セット終了。標的球にもっとも近いボールのあるチームに得点が入ります。ボールをあてて標的球を動かしたり、相手のボールを弾き飛ばしたりするのもOKなので、上手に利用すれば、逆転につぐ逆転でゲームが盛り上がります。



7. 幹事報告 田中幹事

大変楽しいお話を塩爺ありがとうございました。私もちょっとご縁で、新しく出来ているみなみ野のシニアクラブをやっていますが、中でもグランドゴルフが大変な人気で、皆さん楽しくやっています。感激をもって聞かせていただきました。どうもありがとうございました。

幹事報告ですが、事務局のことで、クラブ創設以来岡田さんの事務所で世話になっておりましたが、このたび廃業され引き払われるということで、しばらくの間事務局が無くなるという状態になりました。理事会で相談しておりますが、電話はとりあえず撤去する、郵便物は郵便局に転送をお願いする、ということで早く次の場所を確定すべく検討中です。転送先は「びおら」です。岡田さん長い間ありがとうございました。皆さんで感謝したいと思います。

「恒例になりました、今日は何の日」

今日は何の日でしょうか？いっぱいあると思いますが、私はタイタニック号の日を選びました。映画でも有名にもなりました。何度も観ましたが、あの船の沈んでいくところは自分がそこにいるような気持ちになったことを思い出します。

1912年のこの日、初航海中のイギリスの大型客船タイタニック号が北大西洋ニューファウンドランド沖で氷山に激突し、翌日の未明に沈没した。乗客乗員2,208人の内1,513人の犠牲者を出した。事故の原因や被害には救命設備、流氷の監視、無線電信等の様々な問題が関連しており、その後の船の安全確保に多くの教訓を残した。

今日の誕生花は“白い朝顔”。花言葉は“喜び溢れ”です。

8. 委員会活動報告

(1) 例会委員会 荻島委員長

出席者数、出席率につきましては頭書の通りです。

(2) 情報委員会 土井委員長

プロバス日より245号をお配りしました。今回は池田会員が編集を担当されました。卓話の橋本会員の蘭のお話の記事が紙面を賑やかに、楽しくしてくれました。

現在、編集を進めています学習サロンの抄録ですが、計画どおり進んでおります。

投稿につきましてはストックが少なくなってきましたのでご協力お願い致します。

(3) 会員委員会 馬場委員長

今年度は今までに5名の新会員を推薦して頂きました。ありがとうございました。今月は残念ながらありませんが、大野聖二会員から今日ご推薦をいただきましたので、来月ご紹介できると思います。

6月例会直前まで受け付け可能ですのでよろしくお願い致します。

(4) 研修委員会 戸田委員長

一年間卓話へのご協力ありがとうございました。今月をもちまして終了致します。5月は同好会報告ですのでよろしくお願い致します。

(5) 地域奉仕委員会 山口委員長

学習サロンの出席状況について報告致します。

3月10日 会員55名 一般66名 計121名

3月24日 会員50名 一般65名 計115名

本日第3回のサロンになりますが、多くの方の出席を期待しています。これからのスケジュールとしては、4月28日の野外研修、5月12日の閉講式とさよならパーティーがありますので、ご協力をよろしくお願い致します。

(6) 交流担当 全日本PC副会長 立川富美代

先程、会長、幹事からお話がありました東日本交流会についてご案内いたします。

ホストクラブ 東京八王子プロバスクラブ

日時 9月5日(月)午前11時30分～午後3時

会場 京王プラザホテル

内容は北海道から関東までの各プロバスクラブにご案内をして会員との交流をはかる。会費は7千円。

現在、全日本の理事の方と八王子プロバスクラブのメンバーが実行委員会を発足させ準備を進めています。お一人でも多くのご参加をお願い致します。詳細が出来ましたらご案内を致します。

全日本の第7回大会が北九州で行われます。

日時は11月29日(火)、開催場所は北九州小倉です。

これに合わせて、北九州のツアーを考えておりますので皆様のご参加をお願いしたいと思います。

浅川交流担当

今までに関東交流会を実施しましたが、今度は範囲を広げて北海道から関東までの東日本交流会が行われます。プロバスを全国的に広げるため皆様のご参加よろしくお願い致します。

(7) 宇宙の学校 下山プロジェクトリーダー

「宇宙の学校」に対し会員の皆さまには大変なご協力を賜っております。お陰様で成功しており皆さまには感謝しております。今年もお手元にお配りしました要件のみの記載ですが、この日程で開校することができます。宜しくご協力お願い致します。そ

の中でご協力いただけるのはテクニカルスタッフ、ゼネラルスタッフ、応援見学スタッフというかたちで参加いただいています。東京工科大学会場は学生が主体の運営となりますので、スタッフとしては経験のある方をお願いしたいと思っています。

本部会場と北高校会場は多くの方々のご協力をお願いしたいと思います。10時集合16時30分閉会予定です。お配りしました用紙にご協力頂ける日程を本日提出又は今月中にファックス又はメールで内山会員までお願い致します。

9. 同好会活動報告

俳句同好会 河合和郎会員

今月の1句、毎月プロバスだよりで紹介しておりますが、会が発足して4年目を迎えました。毎年句集を作成しており、3冊目が出来ました。残部が多少ありますのでご希望の方には差し上げます。

10. プロバス賛歌斉唱

11. 閉会

岩島 寛副会長



本日は南ロータリークラブから会長と30周年記念事業実行委員長がお見えになりました。

卓話では塩爺の楽しいお話をありがとうございました。私はグランドゴルフとゲート

ボールしか知りませんでした。他にもニュースポーツが沢山あるということで興味がわいてきました。

5月には大野会員から新しい会員のご紹介があるということで期待しております。この後、第3回目の学習サロンが開催されますが、我々は図書館みたいな存在ですので、その力を大いに発揮してもらいたいと思います。

ハッピーコイン

◆本日の例会には、東京八王子南ロータリークラブより会長の山口進一様と30周年実行委員長の清水宣彦様をお迎えしました。30周年を心よりお喜び申し上げます。 田中 信昭

◆3月に入会された竹元会員テレビ出演おめでとうございます。ウルグアイ元大統領の来日で、4月5日、テレビ朝日にムヒカ大統領とウルグアイの解説で30分間出演されました。

知らなかったウルグアイのことを少し理解することが出来ました。 立川富美代

◆新入会員の次々の入会、大変嬉しく思います。

土井 俊玄

◆平成28年度「宇宙の学校」計画が決まり、スタートします。今年も成功を願って！ 下山 邦夫

◆俳句同好会の山梨県笛吹市への吟行に参加しました。静謐な飯田蛇笏邸、そして春爛漫の花桃園、まことに至福の時でした。 山形 忠顯

◆男性合唱団コール・プレアデスの演奏会（いちょうホール）盛会で終了しました。ご来場ご声援有難うございました。 武田洋一郎

◆春爛漫 桜、桜、桜、桃の花白赤ピンク etc. お花見も最高！心豊かな一週間でした。

ハッピー!! 飯田富美子

◆毎月会員の誕生月に素晴らしいバースデーカードを用意してくれる池田ときえさんの誕生月4月を祝って!! *付言 彼女は誰からもバースデーカードがもらえないのです。 渋谷 文雄

◆ひ孫2人目が生まれました。いずれも男の子。戦争のない事を祈るのみ。 渋谷 文雄

◆数年前に傘寿の大台に達しましたが、アッという間に八十歳台の半ばとなりました。この先、暖かな色調の池田さんのカードを何枚頂けるか楽しみです。

佐々木研吾

◆満80歳を迎えることができ、幸せです。残りの少ない人生を大いに楽しみます。 内山 雅之

◆いつも誕生カードを贈って下さる池田さんに感謝を込めて、誕生月おめでとう。 野口 浩平

◆娘一家が13年ぶりに、ロンドンから帰国しました。孫3人、はじめての日本での生活にとまどっているようですが、何はともあれうれしい限りです。

佐々木 正

◆3月に私のホームコース長竹CCのBクラス月例会で優勝しました!! 43+43=86の4アンダーでした。今度、Aクラス目指して頑張ります。 持田 律三

◆元氣傘寿を迎えました。楽しい仲間とのふれあいに感謝いたします。 塩沢 迪夫

◆生活習慣の若干の変更でボディ・マス・インデックス(BMI)をこれまでの25を標準値の22.5に下げることになりました。 岩島 寛



馬鹿の話

渋谷 文雄



美術観賞同好会「兵馬俑特別展」のあらましは、宮崎さんが纏めて紹介し、サブテーマの「駒形どぜう」を食い且つ飲む楽しみは、馬場さんが実況報告文で記されたので、それで終わったのですが「中

国を勉強しているお前が書かなくてなんとする」・・・以下雑文々・・・

「秦」の始皇帝「嬴政」は西周時代の「秦仲」(前845年)を祖とする28代目の秦土として即位(前247年) 戦国時代を勝ち抜き他の六王を制覇。厳しい法治を断行、焚書坑儒(詩経とか書経などを焼き払い、儒者を土埋めにしたと伝えられる) や長城建設など残虐なる為政者として諸国に君臨した。彼は皇帝になると自らの陵墓建設を始め、現存する墳丘は、南北350米、東西345米、高さ76米、陵墓始め、全体の詳細は未だ調査研究中だが、兵馬俑は更に東南1,500mの地で、1974年に発見された。

始皇帝の末子「胡亥」は二世皇帝となり陵墓を完成、始皇帝を弔送するが『史記』のなかに書かれた有名な故事では宦官の趙高が自らの権力を試す為、鹿を馬と偽って二世皇帝に献上し、周囲の臣下はみな趙高の権力を恐れて馬と言ったと言う、暗愚な皇帝として書かれている。

いずれにしても始皇帝自身の秦官制は僅か15年で崩壊し、二代目「胡亥」は趙高に殺され、勢いを取り戻した六国が再び覇権を争い、始皇帝の三代目「子嬰」は劉邦に降伏し『秦』は滅亡した。

私は仕事の用事もあって西安を度々訪ねた。一昨年の夏には息子と孫二人を連れて政治の北京・歴史の西安・経済の上海と言うテーマで観て回ったが、古き時代の風景が次々と近代化されつつあって残念であった。それでも兵馬俑は一見の価値があると思う。お出かけをお勧めする。

「イタリア好きのベニス狂い」

澤渡 進



「北東イタリア自由の旅9日間」と称して女房と二人、やじきた道中よろしくベニス及びその周辺を訪ねた時の話である。

旧聞に属し恐縮だが、なつかしく感じた事どもを当時の覚書を頼りにご披露させて頂きたい。

1. 特急列車内でのチョットいい話

ベニスからジュリエットで有名なベローナへ向かうコンパートメントの中、70才代と思われるおじいさんが、こちらを見ながらニコニコ顔で座っている。ひとつ覚えの“ボンジョルノ”で窓側の席につく。列車はミラノ方面に行くから適当に“ミラノ?”と聞いたら相手が“シィ”とこたえ、ここから会話が始まった。パトバ駅に停まると“パトバ駅に停まると”パトバ“とじいさん駅を指すので、今度はこちらが”シィ“と返事する番である。

この駅から田舎おやじが乗りこんで席についた。途端に今迄ニコニコしていたベニスじい一言厳しく何事が発したら、ハツとしてパトバおやじが帽子を取ってこちらに挨拶したのである。ここからは勝手な想像だが、じいさんに“先客に挨拶しなさい”とでも云ったのだろうか。外国人の我々に対し“イタリア人は礼儀を知る国民であるぞ”とその心意気を示したと解釈を加えた次第である。

パトバおやじは一人で喋り捲っている。ベニスじいはニコニコ顔で聞いている。なんとも好ましい風景である。

2. キャサリン・ヘップバーンの『旅情』

今日はベニス本島。小路を地図を頼りに迷い捲り、中世の風情をこのハダで感じる日である。唯一の鉄道駅サンタルテア駅から運河を渡って早くも迷路に入り、ようやく有名なティツィアーノの『聖母被昇天』のあるフラーリ教会にたどり着く。

この教会近くにサン・バルナバ広場がある。思いを素直に言えば、この広場は自分だけの場所にしたと思う所である。そう！ここはヘップバーン扮する主人公が骨董屋の主人と恋に落ちた『旅情』の舞台となった所である。

ロケのモデルの店舗、教会、広場、主人公が落ちた運河、皆あるではないか。佇むこと 20 分程か、去り難いが腹も減ってきた。

3. 豪華リッチホテルでの屈辱と過ごし方

折角ベニスだからと一泊だけ 5 ツ星ホテルを予約した。中世の佇まいと豪華なロビー。

最上階の部屋に案内されて驚いた。屋根裏を改装したような小さな窓と低い天井。宿賃が不満なのか、人品骨柄をみての判断なのか、これはあまりに酷い仕打ちではないか。思えばレセプションの男のあのばかていねいで上品ぶった態度も気に入らない。小生の腹立ちは暫らく納まらないが、B 型の女房は気にする様子もない。年代ものの調度品、絵画、代理石の広い浴室などよいところをほめ捲るのである。女房がその気ならここは怒りの矛を納めよう、が、それでもこの屈辱感や不愉快土は一生ものであろう。

翌朝の食堂も豪華、食事するにも落ち着かない。食事を終える頃になっても客は我ら二人だけである。ここに至ってどうやらホテルというもののあり方が少し実感できたようである。今我々が泊まるべきは普通のホテル、このような所は時間をゆったりと使いたい人に任せればよい。覚書にはいつの日か老境が訪れたとき、このホテルは我々に良い居心地を与えるだろうと書かれていたが、今この時に至って心境に変化がありやなしやと問われても答えに戸惑ってしまう。

このホテルはベニス本島のど真ん中。名所の一つ『溜息の橋』の近くにあるが、今思い起こしても「溜息」の出るホテルである。

「みんなで傘寿を語ろう会」

杉山 友一

我がクラブに、去年から今年にかけて、傘寿に該当する会員、つまり昭和 10 年、11 年生まれの方々が 17 人います。クラブ内では誠に大きな塊を成しています。そこで、80 歳は日本人の平均寿命という区切りのこともあり、過日、4 月 21 日にエルシィ 5 階で「みんなで傘寿を語ろう会」を催しました。

当日、時間の都合のつかない方が 4 名いましたが、会の初めには、見事に病を克服してプロバスに復帰した濱野会員による乾杯の発声でお清めをし「語ろう会」が始まりました。プロバスで出会うまではそ



れぞれに違った道を歩んできた面々の 80 年の語りは、まさしく人に歴史あり、事実は小説より奇なりで、分厚い語りの競演となりました。しかし、官吏の道も、実業人の道も、専門職業人の道も、過去はそれぞれに違っていても、なんとも傘寿の着地点は皆一緒の感が致します。ここまで来てみると、みなさん身体の衰え、病の気配には上手に寄添いながらの一病息災ですが、それはそれとして、有形無形の過去の蓄積がものを言い、みなさん人生の達人振りを演出しています。

ひとつ興味深かったことは、多くの方の母親が 80 歳に届かずに世を去っていて、家庭電化の進まぬ昔の女性の日常のご苦勞が偲ばれたことです。さてそして今、毎週二回 2,000 メートルの水泳の実践者岩島会員、車を使わずに日常を歩き通す内山会員、養生のために毎日のウォーキングを欠かさない濱野会員、80 歳にして賃貸マンション経営に挑む川村会員、「80 歳が何なのさ」とばかり、女性ならではの時代感覚で介護士免許取得のための勉学に励む大串会員、などなど、当夜の傘寿を語る会は、老いてなおポジティブなプロバス分科会のひと時となりました。

参加者全員の発言には触れませんが、最後は、「今日は次々と皆さんのお話を聞いているだけで、今こうしている自分の中に心静かな安らぎを感じています」と、煎茶道宗家家元の古川会員が誠に穏やかな一言で納めてくれました。

大徳寺紫雲雪窓の書に「無事は貴人」とありますが、共々にプロバス傘寿の峠越えです。無事たることにこそ拘りながら、一日一日の大切さを説く「日々是好日」の含蓄を胸に人生第四楽章を奏でたいものです。末筆、傘寿のメとして、

「朝起きて みれば嬉しや今日もまた

この世の中の人と思えば」。(感謝 合掌)

つぶやき

トップ奏者...です !?」 武田洋一郎

私の音楽の原点は「吹奏楽」。1962年、20代に東京労音・新交響吹奏楽団に入団。練習場所は上野の東京文化会館リハーサル室。年2回の定期演奏会、第7回まで出演。1966年、東京労音と運営方針の考え方の違いから、東京労音から独立、新交響楽協会が発足。オーケストラと吹奏楽団の2演奏団体で第1回自主合同演奏会に出演。

これとは別に、会社の府中吹奏楽団にも所属、「映画と音楽・グリーンコンサート」などの会社イベントで地方遠征演奏。そして仕事が忙しくなり1968年で演奏活動を中止。

それ以来、吹奏楽から遠ざかっていたが、一念発起、昔取った杵柄、40数年ぶりにトロンボーンを手にして、吹奏楽、Jazzのレッスン・コースを受講。慣れたところで、地元の八王子由井吹奏楽団に入団。現在まで3回の定期演奏会に出演。

・・・で、前置きはさておき、話はタイトルに戻って。演奏会で楽団を紹介するに当たり、「高校生から70代の団員が居ます」というのが常套句。実はその70代が私。No2はまだ60代前半のメンバー。歳の差、隔たりがありすぎー。

皆さん、タイトルを見てご推察の通り、私は演奏レベルの高いトップ奏者ではなく、年齢でトップ・・・レベル!?の奏者なのでした。(´_`)

懇親会や合宿の場で若い人達との交流により、元気をもらっており、また逆にいつまでも若々しい(ん・・・?)、この75歳のトップ奏者を人生の先輩として見習いたいとの話もあり、楽団の広告塔にもなっております。

皆さん、世代を超えて仲間と交わる機会を持ち、己の経験を伝えましょう!

・・・実はこのことを言いたかったタイトルでした!

俳句同好会便り

私の一句～4月の句会から

河合 和郎

昨年に引き続き、山梨の飯田蛇笏、龍太の山盧邸の見学を実施した。一面の桃畑を抜け、俳句の聖地

ともいえる山盧邸の静謐な佇まいに、一同しばし時のたつのを忘れていた。

山盧なる軒に老松緑立つ 渋谷 文雄

山盧邸の庭には母屋に寄り添うように這い松が長く伸びている。老松の緑の芽に春を見た。

難民船浮きつ沈みつ春遠し 東山 榮

高点句。故郷を捨て、命がけで新天地を求める人々。道半ばに船が沈む悲劇。そんな惨事を一句に。

蛇笏の間這い松越しの春日影 山形 忠顯

高点句。蛇笏が見て暮らした庭の景色を同じ目線で鑑賞。導かれるように佳句が生まれた。

それぞれの想ひ浮かべて花筏 池田ときえ

花筏とは花が散って水面に浮かび流れるのを筏に見立てていう。託す想いは人それぞれに。

櫻追ふ各駅ごとに旨き酒 田中 信昭

花を追ってのローカル線の一句か。各駅停車で「旨き酒」を求めて春酔朦朧の旅。羨ましい限り。

笑む顔が娘にそっくりと雛愛でる 飯田富美子

幸せ一杯の母娘の姿が浮かぶ。お雛様みたいに綺麗とは、最高の褒め言葉。末はさぞかしの佳人に。

バスを待つ寄りくる香り沈丁花 立川富美代

バスを待つ間の一句。句心もここまで来れば本物。沈丁花の香りもバスに乗り合ったことであろう。

一人遍路何を願ふて雨を行く 馬場 征彦

人それぞれの願いを抱いての遍路道。一人遍路でも、心は常に弘法大師と共にあるのが同行二人。

老松に春の巡りや山盧邸 河合 和郎

胸に迫ってくるような山盧邸の雰囲気を松に託して詠んだ。改めて俳句の厳しさに身震いのひと時。

編集後記

前回の例会後の夜、九州熊本で大きな地震がありました。ご出身の方も多くいらっしゃると思います。

心よりお見舞い申し上げます。

生涯学習サロンも今日の閉講式とさよならパーティーを待つのみになりました。

後期高齢者仲間入りの誕生月を担当させて頂き良い記念になりました。

(有泉裕子)